



ピアステーション通信

24 年 10 月
第 2 号

挨拶 (2号出せました)

皆様、こんにちは。NPO法人ACT-R（アクトアール）の米田と申します。
レジネスのご協力をたまわりながら第 2 号を発行することが出来ました。
今月号は、本事業の核であるピアサポートに関する調査研究の方法をお伝えしたり、日頃から共に活動しているピアプロジェクトについてお伝えしたいと思います。
ちなみに「ピアステーション通信」の名前は、この事業が皆様とつながる架け橋の
きっかけになればと想いを込めて名付けました。では、今後とも宜しくお願いします。



本事業のピアサポート調査の方法 (グラウンデッド・セオリーアプローチ?!)

グラウンデッド・セオリーアプローチ (M-GTA) を用いた質的研究に基づき、項目整理、内容精査、活動に必要なフォロー体制等の理論構成を行います。M-GTA とは、A.ストラウスと B.グレーザーが案出し、1967 年に紹介された質的調査の方法論でデータに根ざした理論の形成を目指すものです。このために、データ収集をいかに深く行うか、収集データに基づきつつ、いかに理論化していくかということが重要になります。

例えば今回の場合、ピアサポート活動の内容を調査対象者から聞き取り、それを種類別、内容別に理論的に分類していくという作業になります。具体的には、「ピアサポートセンターで週 2 回午前中に電話相談を受けています。困った時には同僚に相談してます。」というお返事を、場所は「ピアサポートセンター」、頻度は「週 2 回午前中」、内容は「電話相談」、フォロー体制は「同僚に相談」、という風にカテゴリーとその内容を仕分けして整理していきます。そしてそこから、「活動場所をピアサポートセンターにしたのは何故か?」「頻度を週 2 回午前中としているのは何故か?」「電話相談という内容にしたのは何故か?」「困った時は、なぜ同僚に相談するのか?」と話を掘り下げていきます。こうすることでこの方が現在の活動内容になった理論が明らかになってきます。

以上の調査を行いピアサポート活動の理論構成が得られれば、ピアサポーターは一人ひとりに合った活動スタイルが確立し、ピアサポートを受ける側は受けられるピアサポートがわかりやすくなる、と考えています。

シリーズ? 『ピアサポートの今ここ』

ピアサポート会 『ピアプロジェクト』

今回は同事業の協力団体「ピアプロジェクト」(以下:ピアプロ)の紹介をさせていただきます。
ピアサポーターを中心とした実行委員で構成され、平成 23 年 2 月~「ピアコミュニティ」というピアサポーターと話す交流会を皮切りに、活動を始めました。ピアサポーターになりたい方は多いものの、活動先があまりなく、「これはもったいない」という課題解決のため、交流会や企画や講習などを開催してきました。これから、この事業でピアサポートと一緒に研究できる事、とても楽しみです!

(詳細ブログご覧ください。 <http://piapro.cocolog-nifty.com/> ピアプロジェクトで検索)

告知

11 月~復活! (11 月 1 日、12 月 6 日...)

『ピアコミュニティ』 毎月第 1 木曜 13:30~ カフェピアにて 参加費: 300 円(ワンドリンク)

※ 以降、言っぱなし企画『ツキイチガンコ』、女子会 HOPS なども随時活動中!

第2回ピース(スタッフ研修)の報告

参加者4名でした



テーマ:「PSWとピア活動について」

講師: 榛沢(はんざわ) 昌高氏 ~ 相模原市精神障害者仲間の会(あしたば会)

10月18日(木) 14時~17時前までの長丁場! でレジネスのカフェ・ピアが開催されました。

第2回目の「ピース」は、当事者でありながら今年、PSW(精神保健福祉士)の資格を取得され、八王子の作業所に勤務している榛沢氏をお招きし、PSWを目指したきっかけ、活動、理想と現実のギャップ等についてお聞きしました。彼は精神障害を持ったことで沢山失いましたが、沢山得ることも出来ましたと言います。立ち直っていく過程で多くの人に支えられ、人の温かい心を知りました。頑張るのは大変だけど、生きがいを持つと楽しいって知りました。

PSWを目指したきっかけは、ピアサポート活動において、精神障害者が抱えている問題があまりにも多く、この社会が住みにくい事を学び、法律・制度の不備、社会の偏見や差別に理不尽さを感じ、情熱だけでは社会は変えられないと思い、力をつけるために目指したそうです。

活動は「あしたば会」という当事者会の運営と、PSWとしては作業所の非常勤職員として勤務しています。また、理想と現実のギャップとしては、ピア活動の両立で、ピア活動が忙しすぎて、PSWの仕事が週2日しか出来ないことに矛盾を感じているそうです。

最後に、ピア活動のススメとして自分が世の中に役に立っていると感じると思考が前向き楽観的になり、体の細胞が活性化、免疫力もUP、心の病の回復にもなると言われていたのが印象的でした。

これからの予定

公開講座 どなたでも参加OK!

★11/21(木) 「ピース」 13:30~15:30

講師: 向谷地 宣明氏 (浦河べてるの家) 会費: 500円 場所: カフェピア (レジネス内)

ピアサポーター研修会として開催される3回目は、北海道浦河べてるの家より、向谷地氏を招きべてるでのピアサポートの実践やべてるならではの「自分の助け方」等を伺い、皆で学んでいきたいと思えます。

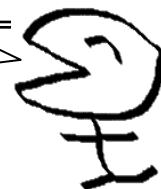
 **べてる式ピアサポート?**!

中原区木月
3-59-22
(元住吉徒歩10分)

詳細チラシはレジネスWEBサイトでダウンロードもできます。

「 <http://resnes.web.fc2.com/> 」

※レジネスで検索してレジストブログバナーからお入り下さい。



編集後記

日中はまだ少し暑さが残るものの朝、晩はすっかり涼しく、ぐっと秋らしくなってきました。

今回はピースのご紹介を少し。ピースというのは、ピア・サポーターのためのピアを...という事で始まりましたが、皆、ピア同士です。気楽な自主学习会として、どなたでもご参加できますので、是非ご参加下さい! レジネスでは、皆さんのお越しをお待ちしています。(利用者登録者、募集中!) kayokoでした。

発行元

NPO 法人 ACT-R

〒213-0034

川崎市高津区上作延 782-B101

TEL : 070-6527-4303

E-Mail : t.yoneda@act-r.org